

平成23年の正月は 連日快晴でした

三ヶ日は多くのご参詣をいただきました。



清澄

平成23年1・2月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1

© 清澄寺
TEL 04 (7094) 0525 番
FAX 04 (7094) 0527 番
振替 00140-5-55501

印刷所
天津 (株)ブラザー印刷
送料共1部100円

お知らせ

2 月

3日
節分会
27日 18:30
信行会 (唱題行)

3 月

18~24日
彼岸会
27日 18:30
信行会 (唱題行)

4 月

27日
立教開宗会
並
別當就退任式

本年もよろしくお願ひ申し上げます

3列目右より

2列目右より

前列右より

竹田恵子

松岡玄澄

庶務主事
大森太朗

地引友子

森本光恒

經理執事
根本衍之

西川 薫

執事長
佐々木光道

小林妙慎

別當
二宮日敬

佐々木育子

小澤玄勇

総務執事
宮崎雅宣

蛭田米行

荻野泰裕
法務主事
村田教行

斎藤英博

(撮影時不在 松本顕要)

4月27日は、 立教開宗会並別當就退任式奉修です。



正月

(途切れない参拝者)

晴れやかに元旦を迎えて

第十三代別當

二宮 日敬

晴れやかな新春の清澄山から、謹んで新年のお慶びを申し上げます。年頭にあたり、この一年が穏やかに輝かしい年であることを、法華經の御宝前に深く祈念いたします。

元旦の旭が森は、例年になく東方の空が晴れ渡り、『南無妙法蓮華經』の『お題目』の唱和がこだまするなかに、大輪の初日の出を感激のなかに迎えました。それはあたたかも、日蓮聖人が、ここ旭が森で初めてお題目を絶唱された、七五〇余年前の故事を彷彿とさせる光景でした。

私は、昨年この『お題目の聖地』清澄寺に、法華經の法燈を高く掲げる使命を帯びて、別當として就任いたしました。その最初に迎えた元旦の輝く風光に臨み、法華經信仰への思いをさらに新たにしました。

日蓮聖人は、一門の人々に与えた手紙のなかで、清澄山こそ『法華經』信仰の出发点であると、しばしば説かれています。空が晴れていても、曇っていても朝の太陽はいつも旭が森の東方から輝き始めます。年の初めにあたり、限りなく大勢の方々とともに、『お題目』のあふれる一年を、幸せに送りたいと念じます。

ご挨拶

明けまして御目出度うございます。
 本年は、辛卯年です。皆様一年の目標を立てましたか？私の今年のテーマは『意識』としました。全ての事に対してしっかりと意識をし、良く考え実践しようと考えております。

昨今、日本は政治も経済も不安定、気候は猛暑、局的豪雨、大雪そしてインフルエンザ等、流行病がはやるまさに今、末法の世、今こそ私たち一人一人が、法華經の精神を日蓮大聖人の教えを弘めていかなければならないと思います。立教開宗の聖地、清澄寺よりもっともとお題目を弘め、発信していかなければならないと思っております。

二宮別當のもと、山務員、職員一心を一つにして皆様のご参拝を心よりお待ち致しております。

全国のご寺院各尊聖、並びに檀信徒各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

執事長 佐々木光道

大晦日(年越し)

大晦日の行事は、十九時から平成二十二年の無事を感謝する除夜祭を皮切りに始まりました。

法要は二宮別當を導師に、山務員が出仕。

本堂へ祖師堂と法要が厳修され、年越しの参籠者三十三名(宿泊)の方々も参

列され、それぞれ読経の中、感謝の焼香をされておりました。

その後、一時の静けさが山内をおおいましたが、間もなく次の行事の水行式の時間が近づき、山内も慌ただしくなっております。



(除夜祭の参列者)



時は二十三時三十五分、夜中の寒水行式へと進みました、今も市川の中山で大

(凍る寸前の寒水を被る)



荒行が行なわれておりますが、その荒行成満の五名による水行です。

村田教行主事水行導師の発音により、同じく荒行成満者の主事大森太朗・山務員松本顕要・小澤玄勇、そして管内より応援に駆け付けた林洋明の各上人でおこなわれました。

水行が始まり寒水を浴びるたびに、参列者は有り難く合掌をして見守っております。

除夜の鐘撞き



水行が終了すると、除夜の鐘となり、十一時五十五分、二宮別當の挨拶があり、第一鐘が椎鐘されました。

続いて片桐鴨川市長、鴨川市消防団長、今野護山会長、参籠者、一般と続きました。



一番祈祷

新年最初の行事は、全国檀信徒からの郵送祈願と、当日お申込の祈願を併せて行いました。堂内いっぱい檀信徒が参列。宮崎総務執事・修法師のもと七名の修法師により一番祈祷を厳修しました。



(一番祈祷を受ける参拝者)

参拝者は堂内いっぱいでしたが、広いお堂で寒さの中を、皆さん今年一年の無事平穏をお祈りされておりました。

一方境内では、除夜の鐘が椎鐘され続けている中、本堂ではお参りの皆さんが一齐にお賽銭をあげて合掌・合掌の光景でした。

初日の出

ご来光

初日の出の時刻は六時四十四分、この時刻はご存知のように、簡単には行けない富士山とかを除き全国では一番早い場所になります。

六時半に研修会館前からお題目の玄題旗を先頭に、太鼓に合わせ、行列を組ん



で旭が森へ歩んで行きました。

二宮別當導師に佐々木執事長、宮崎総務執事、山務員出仕のもと、日蓮聖人像に、お自我偈を言上、続いて東方に向かいお題目を一心に唱え暁天法要を厳修。

太平洋上には雲がかかっておりましたが、参拝者と共にお題目を唱えていますと、晴天に恵まれ水平線より少し上の雲間から見事な御来光。皆感激されお題目を唱えて一年の安寧をお祈りされました。

皆一様に写真におさめようとカメラを向けておりました。(写真上)

旭日に祈願をされ、その後別當は皆さんに新年のご挨拶を述べられ暁天法要を閉式致しました。

ご来光から帰る途中、道善御坊の墓前にお参りをされ、引き続き、元旦祝持会法要を、本堂へ祖師堂と行いました。

この法要後にも、別當から参列者に親しく新年のご挨拶が述べられました。

= 節分会再予告 =



前号で予告掲載をさせて頂きましたが、清興出演の「青木隆治」さんの反響が大変よくポスターを見られた方や、青木さんが「インターネットのブログ」に書き込みをされた関係で、一時は電話での問い合わせが殺到いたしました。

おそらく楽しい節分会になる事と思います。

談話室

平成二十三年も始まりました。読者の皆さんは、どのような正月を過ごされたのでしょうか？

清澄寺は三ヶ日とも、快晴に近い天候で穏やかな

日々、参詣者も多く賑やかな年のスタートとなりました。

しかし全国の状況は厳寒で大雪や吹雪の様子、各地で大なり小なりの災害が起きています。その関係者におかれましては謹んでお見舞い申し上げます。